

2026 年度からの IP アドレス・AS 番号維持料改定について

IP アドレス事業における、IP アドレス及び AS 番号維持料の改定を、2026 年度の維持料請求時(2026 年 4 月)から実施することについてご承認をお願いします。

1. 改定の背景、理由

1)各種費用の上昇への対応

- ・ 2023 年度より APNIC が会費改定を段階的に行っており、円安傾向も併せて JPNIC の負担額も大幅に上昇している。
- ・ 経済情勢の変化に伴いシステム保守料、人件費などの各種事業費用も上昇している。

2)安定した事業継続の必要性

- ・ 2012 年に現在の料金体系に見直して以降、業務効率化・コスト削減を継続し、必要最小限の体制で事業運営を行ってきたが、レジストリサービスの高度化と安定運営を継続するための体制充実が必要となってきた。

3)サービスの継続提供と拡充の必要性

- ・ 業務効率化とコスト削減を進める一方、Abuse 窓口(不正利用に対応する連絡窓口)の追加、RPKI システムの提供、認証方式の見直しなど、機能強化を進めてきた。
- ・ 今後も IP アドレス・AS 番号の登録管理システム(IP レジストリシステム)や RPKI システムの高度化、堅牢化と IP レジストリシステムのセキュリティ、可用性向上を目的としたクラウドへの移行など、引き続きサービス拡充と向上のための投資及び支出が必要である。

2. IP アドレス・AS 番号維持料改定案

1)IP アドレス維持料改定案

- ・ 現状の維持料算出式

$$\text{IPv4 アドレス維持料} = 65,000 \times 1.3^{(\log_2[\text{IPv4 アドレスの総数}] - 9)}$$

$$\text{IPv6 アドレス維持料} = 65,000 \times 1.3^{(\log_2[56 \text{ の個数}] - 23)}$$

- ・ 改定案

$$\text{IPv4 アドレス維持料} = \underline{\text{基本料金}} \times \underline{\text{係数}}^{(\log_2[\text{IPv4 アドレスの総数}] - 8)}$$

$$\text{IPv6 アドレス維持料} = \underline{\text{基本料金}} \times \underline{\text{係数}}^{(\log_2[56 \text{ の個数}] - 22)}$$

前述改定案算出式の「基本料金」と「係数」を2026年度から2028年度まで下記の値に設定して維持料を算出する。

	2026年度	2027年度	2028年度
基本料金	55,000	56,100	57,222
係数	1.32	1.325	1.325

なお、2028年度以降については、APNICの対応状況、経済環境等を勘案しながら基本料金及び係数の見直しについて2027年度中に検討を行う。

## 2) AS番号維持料改定案

### ・現状のAS番号維持料

- ・ AS番号のみの割り当ての場合、最低料金(50,000円(税抜))を請求
- ・ 上記以外は、IPアドレス維持料のお支払いでAS番号維持料を免除

### ・改定案

- ・ AS番号のみの割り当ての場合、IPアドレス維持料の最低料金と同額を請求
- ・ 2個以上のAS番号割り当てを受けている場合には、2個を超えた分についてAS番号維持料(10,000円・税抜)を請求（2個まではIPアドレス維持料をお支払いの場合従来通りAS番号維持料を免除）
- ・ 現在2個以上のAS番号割り当てを受けており、さらに追加の割り当てを受ける場合は、割り当て時に手数料(50,000円・税抜)を請求

※下記については従来通り変更なし

- ・ IPv6アドレスの分配を受けている場合はIPv4、IPv6でそれぞれ維持料を算出して金額の高い方を請求する
- ・ 維持料請求時期(毎年4月)及び納入期限(5月末日)、支払方法(銀行振込)

## 3. JPNIC会員減額改定案

今回のIPアドレス・AS番号維持料改定に際し、従来のJPNIC会員減額も見直しを行う。JPNIC会費で支援されているインターネット基盤整備事業における成果(認証技術、ルーティングセキュリティなど)は、IPアドレス事業でも活用されているため、JPNIC会員の貢献に対して会費額に応じた維持料減額とすることで支援の継続を期待する。

<JPNIC会員減額案>

種別	現行	改定後
S	¥100,000	¥500,000
A		¥500,000
B		¥375,000
C		¥200,000
D		¥125,000

#### 4. 経過措置案

- ・本改定により、分配を受けた IP アドレス数が多い組織ほど支払金額が大きく増加する組織がある。
- ・急激な負担増を軽減するため、当初(2026 年度)の請求に限り下記の通り改定幅に上限を設けることとする。

対象：改定後維持料（会員減額適用後）が 20%以上かつ 20 万円以上の値上げとなる組織  
措置：値上げ率を 20%までとする  
期間：初年度(2026 年度)請求分（2027 年度からは改定後維持料を請求）

#### 5. 改定による収支への影響

- ・本改定により、IP アドレス事業の年間収入は経過措置完了後に従来の 3 億 6,000 万円に対し約 1 億 1,700 万円の増加となる見込みである。
- ・上記収入増により、現在計画しているレジストリシステムのクラウド移行を含む今後の IP アドレス事業費用増を概ねカバーできると見込んでいる。

#### 6. 事業者への説明状況

- ・2024 年 11 月より順次、本改定に関する説明を IP アドレス指定事業者約 20 組織に対して個別に行った。
- ・また、下記の日程で IP アドレス管理組織への説明会を開催した。  
2025 年 1 月 27 日（大阪）、2025 年 1 月 28 日、29 日（東京）
- ・個別説明及び説明会においても、特に大きな反対意見はなく、改定案を大きく見直す必要のある質問や意見はなかった。

#### <個別説明、説明会でいただいた主なご意見、ご質問>

- ・ APNIC への支払額増加の現状、各種費用が上昇傾向にある現状、2012 年から現在まで料金を据え置いてきた現状もあり、見直しはやむを得ない
- ・見直し実施まで 1 年以上あり、早めの案内があったのはよかった
- ・ AS 番号に関する費用が複雑で分かり難くなった
- ・他の事業者の反応はどのようなものがあったのか？
- ・2029 年度以降はどのような見通しなのか？更なる値上げがあるのか？

## 7. 今後のスケジュール

日付	内容
2025年3月17日	総会 改定案の承認
2025年4月1日	2025年度維持料算出（現行計算式）
2025年5月15日	理事会 関連文書改定の承認
2025年6月～	関連文書公示 2026年度改定内容の周知
2026年1月	2026年度維持料見込額の通知
2026年4月	2026年度維持料算出（改定算出式）、経過措置実施

以上

<参考資料>

APNIC 会費の改定推移

	計算式とパラメータ(IPv4)	JPNIC 支払額(実績値と見込)	
2022 年度	$1,180 \times 1.3^{(\log_2(\text{address}-8))}$	AUD 481,096.00	¥ 43,238,218
2023 年度	$1,180 \times 1.31^{(\log_2(\text{address}-8))}$	AUD 554,584.00	¥ 52,870,564
2024 年度	$1,180 \times 1.31^{(\log_2(\text{address}-8))}$	AUD 554,718.00	¥ 55,274,832
2025 年度	$1,236 \times 1.315^{(\log_2(\text{address}-8))}$	AUD 657,302.03	¥ 65,730,203
2026 年度	$1,295 \times 1.320^{(\log_2(\text{address}-8))}$	AUD 740,259.11	¥ 74,025,911
2027 年度	$1,356 \times 1.325^{(\log_2(\text{address}-8))}$	AUD 832,956.99	¥ 83,295,699

2024 年度までの金額は実績

2025 年度以降は 2024 年度と同じアドレス数、AUD1=¥100 で計算